

2022年度 若手・女性研究者奨励金 実績報告の提出について

実績報告に係る様式は、私学事業団電子窓口の「寄付金課」→「若手・女性研究者奨励金」→「2022年度 実績報告」からダウンロードのうえ、電子窓口にて提出してください。

※ 郵送等による紙媒体での提出は不要です。

1. 提出書類

- 2022年度 若手・女性研究者奨励金に係る事業の実績報告書
- 2022年度 若手・女性研究者奨励金 レポート

2. 提出期限：令和5年7月7日（金）

※ 期限内での提出が難しい場合は、事前に私学事業団 寄付金課までご連絡ください。

3. 報告書等作成上の注意等

- (1) 電子窓口から取得した所定の様式（電子ファイル）に入力を行ったうえで、提出してください。
- (2) 報告書等の作成にあたっては、電子窓口に掲載の「記入要領」及び「記入例」をご確認ください。
- (3) 電子窓口は、法人単位での提出となります。同一法人で複数件の実績報告を提出する場合には、1ファイルにまとめた電子ファイルを提出してください。

4. 問い合わせ先

〒102-8145 東京都千代田区富士見 1-10-12

日本私立学校振興・共済事業団

助成部 寄付金課 TEL 03 (3230) 7319・7320

FAX 03 (3230) 8223

E-mail kifukin@shigaku.go.jp

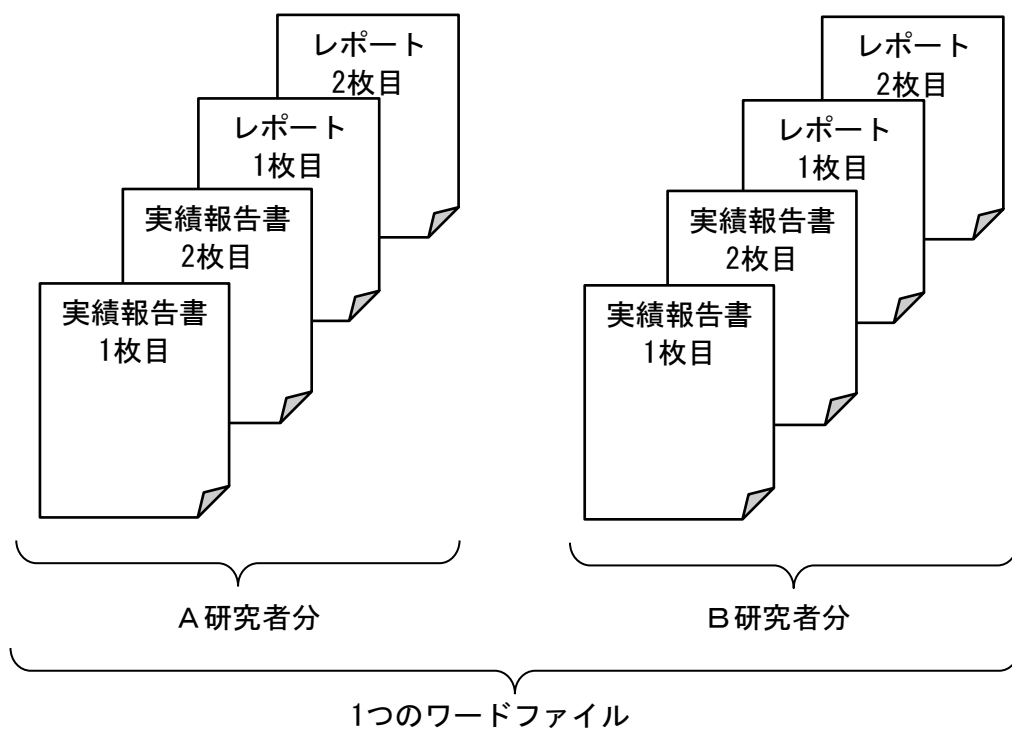
同一法人が複数件の若手・女性研究者奨励金の実績報告を提出する場合の報告書等の作成について

電子窓口は、法人単位での提出となります。

同一法人で複数の学校が採択され、複数件の実績報告を提出する場合には、電子ファイル様式ごとに法人で1つにとりまとめてください。

●ワード形式のファイル

複数件の報告書一式をそれぞれ作成し、つなげて1つのファイルとしてください。
なお、ページ番号は付さないでください。



2022年度 若手・女性研究者奨励金 実績報告書等 記入要領

実績報告に係る様式は、私学事業団電子窓口の「寄付金課」→「若手・女性研究者奨励金」→「2022年度 実績報告」からダウンロードのうえ、電子窓口にて提出してください。

※ 郵送等による紙媒体での提出は不要です。

○ 2022年度 若手・女性研究者奨励金に係る事業の実績報告書

(1) 「1. 学校名」について

現在の所属学校にかかわらず、奨励金の配付を受けた当時の所属学校を記入してください。

(2) 「2. 奨励金種類」について

若手研究者奨励金 又は 女性研究者奨励金 のいずれかを記入してください。

(3) 「7. 支出内訳（使用用途）」について

※原則として、2022年度内の支出に限ります。

① 本奨励金の使用用途について、何に使用したのかだけでなく、その費用が当該研究において何のために必要だったのか、若手・女性研究者奨励金への支援者（寄付者）がわかるように、記入してください。

[例 ×：パソコン購入 → ○：□□の解析用パソコン購入
×：出張旅費 → ○：□□の調査のための福岡出張]

② 合計額が配付額（40万円）を超えても問題ありません。

③ 行が足りない場合は、適宜増やしてください。

(注) 本奨励金の使用につきましては、各研究機関における公的研究費の適正な管理・執行をお願いしていますが、「支出内訳」の作成に際しましても、再度精査いただき、適正な使用を確認するとともに、本奨励金に残余が生じていないか等をご確認ください。残余が生じた場合は、返還いただくことになります。

なお、適切な使用が行われていない場合は、奨励金の返還や応募資格の停止等の厳正な措置を講じることとなりますので、ご留意ください。

(4) 「事務担当者」について

実績報告書について、私学事業団から事務的な問い合わせをする必要がある場合に対応できる事務担当者（大学等の職員名）を記入してください。なお、研究者が当該学校を退職し別の学校や企業に所属している場合でも、配付を受けた大学等の事務担当者としてください。

○ 2022 年度 若手・女性研究者奨励金 レポート

本レポートは、私学事業団ホームページに掲載し広く社会一般に公開するほか、本奨励金の募金活動の一環として、支援者（寄付企業等）等に提供します。

作成にあたっては、研究者、専門家、同業者等に向けたものではなく、本奨励金への支援者（寄付企業等）をはじめ社会一般の方々に向けて、わかりやすい表現で作成していただきますよう、お願いします。

また、校正の依頼はしませんので、誤字、脱字等にご注意ください。

〔1〕 研究課題名、副題の記入

- ① 16 ポイント、ゴシック体で記入してください。
- ② 副題は、「－あいうえおかきくけこー」のように、－（全角ダッシュ）を両サイドに入れてください。副題がない場合は、副題の行を削除してください。

〔2〕 「キーワード」について

- ① 支援者等が研究レポートを閲覧するにあたり閲覧の助けとなるよう、研究課題の内容を端的に表す語句を、それぞれ 15 字以内で、3 つ記入してください。
- ② ①、②、③と番号を付し、「、」で区切ってください。

〔3〕 「研究者の所属・氏名等」について

(1) 「所属等」について

- ① 研究者の、氏名、配付時（令和 4 年 4 月 1 日時点）及び現在（令和 5 年 7 月 1 日時点）の所属学校名、学部名、職名（助教、ポストドクター、講師など）を記入してください。
- ② 令和 5 年 7 月 1 日現在、研究者が学校以外の民間企業、研究所等に所属の場合は、その所属先名、職名等を記入してください。

(2) 「プロフィール」について

- ① 社会に向けての幅広いアピールとなるよう、自身の経歴や経験等、自由に記入してください。
- ② 100～300 字程度としてください。

〔4〕レポート本文

(1) 体裁等

- ① 本文全体で 1,500～3,000 字程度にまとめ、レポート全体でA4版2～4枚となるようにしてください。
- ② 本文は原則として、11ポイント、明朝体で記入してください。ただし、強調のために部分的に別の字体を使用することは構いません。
- ③ 項目名（見出し）は12ポイント、ゴシック体としてください。
- ④ 行間等の様式の基本設定は、なるべく変更しないでください。
- ⑤ 原則として、常用漢字、現代かな遣いを用いてください。機種依存文字は使用しないでください。
- ⑥ 句読点は「、」「。」「。」を使用し、カンマ「,」「」やピリオド「.」「」は句読点としては使用しないでください。
- ⑦ 段落番号の有無は問いません。
- ⑧ 支援者（寄付企業等）等にイメージが伝わりやすいよう、写真（研究者が実際に活動している様子など）を入れていただくことを推奨します。
- ⑨ 図表、画像等は、別添とはせずに、本様式のワード文書中に貼り付けてください。

(2) 本文等

〔再掲〕

本レポートは、私学事業団ホームページに掲載し広く社会一般に公開するほか、本奨励金の募金活動の一環として、支援者（寄付企業等）等に提供します。

作成にあたっては、研究者、専門家、同業者等に向けたものではなく、本奨励金への支援者（寄付企業等）をはじめ社会一般の方々に向けて、わかりやすい表現で作成していただきますよう、お願いします。

- ① 「1. 研究の概要」は、どのような研究を行ったのか、研究の特色や独創性がわかるように記入してください。
- ② 「2. 研究の動機、目的」は、なぜこの研究をしようと思ったのか、その動機と目的を記入してください。
- ③ 「3. 研究の結果」は、研究の経過及び結果を記入してください。
- ④ 「4. 研究者としてのこれからの展望」は、当該研究の展望ではなく、研究者ご自身の今後の展望（研究者としての目標、夢、プランなど）を記入してください。
- ⑤ 「5. 支援者（寄付企業等や社会一般）等へのメッセージ」は、寄付者へのお礼ならびに本奨励金により研究を遂行できたことで、研究者としてどのようにステップアップできたか、また、今回の研究がどのような価値を生み出す可能性があるのかなど、今後の展望を含め、これからの取り組みに対する支援（寄付）を獲得するための一助となるよう、寄付者に向けたメッセージを記入してください。
- ⑥ 「1. 研究の概要」～「3. 研究の結果」は「である調」で記入してください。「4. 研究者としてのこれからの展望」「5. 支援者（寄付企業等や社会一般）等へのメッセージ」は、「である調」でも「ですます調」でも構いません。

○ **電子窓口への提出期限** 令和5年7月7日（金）

※ 期限内での提出が難しい場合は、事前に私学事業団 寄付金課までご連絡ください。

○ **問い合わせ先**

日本私立学校振興・共済事業団

助成部 寄付金課 TEL 03-3230-7319・7320

FAX 03-3230-8223

E-mail kifukin@shigaku.go.jp

記入例

学内の文書決裁番号を記入してください。

東西学発第540号
令和5年7月1日

日本私立学校振興・共済事業団
理事長 福原 紀彦 殿

学校法人 東西学園
理事長 東西 太郎

2022年度 若手・女性研究者奨励金に係る事業の実績報告書

令和4年4月18日付け私振寄第7号で配付決定を受けた、2022年度 若手・女性研究者奨励金に係る事業の実績について、下記のとおり報告します。

記

「若手研究者奨励金」又は
「女性研究者奨励金」の
いずれかを記入してください。

- | | |
|------------------|--|
| 1. 学 校 名 | 東西大学 |
| 2. 奨励金種類 | 若手研究者奨励金 |
| 3. 研究者名 | 南北 太郎 |
| 4. 研究課題
(副 題) | 〇〇〇〇の×××における◇◇◇◇分析
(新たな可能性を秘める△△△△) |
| 5. 奨励金配付額 | 400,000円 |
| 6. 事業の内容等 | 別紙「2022年度 若手・女性研究者奨励金 レポート」の
とおり |

原則として、研究課題・副題は
配付申請時と同一としてください。

配付額は一律40万円です。

6桁の学校法人番号を記入してください。

学校法人番号	131999
--------	--------

7. 支出内訳（使用用途）

使用用途	金額（円）
〇〇〇解析装置の購入	184,200
実験用試薬（〇〇〇他）	127,250
〇〇〇発表のための学会参加旅費	54,300
〇〇〇の調査のための書籍購入費	49,720
消耗品費	12,340
計	427,810 円

何に使用したのかだけでなく、その費用が当該研究において何のために必要だったのかわかるように、記入してください。

行が足りない場合は、適宜増やしてください。

○ 事務担当者

所属部署・職名等	氏名（フリガナ）	連絡先	
研究支援課 第一係長	シガク ニヘイ	TEL	03-3230-7320
	私学 二平	FAX	03-3230-8223
		E-Mail	shigaku@touzai-u.ac.jp

実績報告について、私学事業団から事務的な問い合わせをする必要がある場合に対応できる方を記入してください。

学校法人番号	131999
--------	--------

6桁の学校法人番号を記入してください。

2022 年度 若手・女性研究者奨励金 レポート

研究課題	〇〇〇〇の×××にお ー新たな可能性を秘め
キーワード	①〇〇物質、②新しい×××学、③△△計画

原則として、研究課題・副題は配付申請時と同一と
してください。
研究課題及び副題は 16 ポイント・ゴシック体で記載
してください。
副題はー(全角ダッシュ)を両端に付してください。
副題がない場合は副題の行を削除してください。

研究者の所属・氏名等

キーワードは、研究課題の内容を端的に表す語句を、それぞれ 15 字以内で、
3つ記入してください。①、②、③と番号を付し「、」で区切ってください。

フリガナ 氏名	ナンボク タロウ 南北 太郎
配付時の所属先・職位等 (令和4年4月1日現在)	東西大学 〇◇学部 助教
現在の所属先・職位等 (令和5年7月1日現在)	〇△◇研究所 研究員
プロフィール	〇〇〇〇 ・ ・ ・

プロフィールは、社会に向けての幅広いアピールとなるよう、
自身の経歴や経験等を、100~300 字程度で記入してください。

1. 研究の概要

5つの各見出しについては 12 ポイント・ゴシック体で記入してください。

- (1)
- ①
- ②
- (2)
- ①
- ア
- イ
- ②
- ③

本文は原則として、
11 ポイント、明朝体で
記入してください。

本文全体で 1,500~3,000 字程度にまとめ、レポート全体で
A4版 2~4 枚となるようにしてください。
句読点は「、」と「。」を使用し、カンマ「,」やピリオド「.」は
句読点としては使用しないでください。
校正の依頼はしませんので、誤字、脱字等にご注意ください。

2. 研究の動機、目的

- (1)
- (2)

イメージが伝わりやすいよう、写真(研究者が実際に活動して
いる様子など)を入れていただくことを推奨します。
図表、画像等は、別添とはせず、本様式のワード文書中に
貼り付けてください。

3. 研究の結果

- (1)
- ①
- ②
- (2)
- (3)

各項目の留意点等については「記入要領」に記載しています。
作成にあたっては「記入要領」を必ずご確認ください。

4. 研究者としてのこれからの展望

.
.
.

5. 支援者(寄付企業等や社会一般)等へのメッセージ

.
.
.

本レポートは、私学事業団ホームページに掲載し広く社会一般に公開するほか、
本奨励金の募金活動の一環として、支援者(寄付企業等)等に提供します。
作成にあたっては、研究者、専門家、同業者等に向けたものではなく、
本奨励金への支援者(寄付企業等)をはじめ社会一般の方々に向けて、
わかりやすい表現で作成していただきますよう、お願いします。